

日 付 令和 3年 11月 4日
担当所属 第 107 回全国図書館大会山梨大会実行委員会
副委員長 河手由美香
(山梨県立図書館 副館長)

「第107回全国図書館大会山梨大会」 オンライン開催について

「全国図書館大会」が平成9年の第83回大会以来24年ぶりに、山梨県で開催されます。公共図書館、大学図書館、専門図書館など館種を超えて開催される図書館最大規模の研究集会です。

毎年、公益社団法人日本図書館協会が中心となり、各県持ち回りで開催しています。今大会は、新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン開催といたしました。一部の分科会は、山梨県立図書館内のサテライト会場にてご参加いただけます。

大会テーマ：知をつなぐ、甲斐（交ひ）の国から

1. 期間：2021年11月11日（木）～11月12日（金）

終了後、12月末までコンテンツの配信を予定しています

2. 内容：基 調 報 告： 報告者 植松貞夫氏（公益社団法人日本図書館協会理事長）

対 談： 堀内丸恵氏（集英社会長：富士河口湖町出身）

× 金田一秀穂（山梨県立図書館館長）

分 科 会： 16分科会（リアル配信のみの分科会があります。）

交流サイト： テーマ別に情報交換ができます。

ほか、詳しい内容は、大会ホームページや、別添のチラシで御確認ください

3. 大会ホームページ：<https://www.lib.pref.yamanashi.jp/107th-taikai/>

4. 主催：公益社団法人日本図書館協会 山梨県 山梨県教育委員会 甲府市
甲府市教育委員会 山梨県公共図書館協会 山梨県内大学図書館部会
山梨県学校図書館教育研究会 山梨県高等学校教育研究会図書館部会

※報道機関の皆様へ

コンテンツの視聴を希望される場合は大会事務局へお問い合わせください

問い合わせ先

第 107 回全国図書館大会山梨大会実行委員会事務局(山梨県立図書館内)

山梨県立図書館 総務企画課 企画振興担当 副主幹 中込 和寿

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042



大会ホームページ

[https://www.lib.pref.yamanashi.jp/
107th-taikai/](https://www.lib.pref.yamanashi.jp/107th-taikai/)



第107回

全国図書館大会山梨大会

オンライン開催 ※終了後、配信を予定しています。

令和3(2021)年11月11日(木)～12日(金)



大会テーマ



知をつなぐ、
甲斐(交ひ)の国から

開催行事

[全体会] 開会式(開会宣言、挨拶、祝辞)、基調報告、記念講演

[分科会] 第1分科会～第16分科会(裏面をご覧ください。)

[交流サイト] 分科会や、さまざまなテーマ別に情報交換できる交流サイトを開設

参加費

山梨県内からのご参加は 2,000円(要事前申込み)

申込期間: 令和3(2021)年8月3日(火)～10月7日(木)

※お申込みの際は、大会ホームページ内「参加申し込み」フォームの住所欄において、都道府県名のプルダウンから「山梨県」を選択してください。ご不明な点はメールにて事務局にご確認ください。

会場について

一部の分科会等については、山梨県立図書館内にサテライト会場を設けます。

事前申込みが必要です。詳しくは大会ホームページでご確認ください。

主催 公益社団法人日本図書館協会 山梨県 山梨県教育委員会 甲府市 甲府市教育委員会 山梨県公共図書館協会 山梨県内大学図書館部会 山梨県学校図書館教育研究会 山梨県高等学校教育研究会図書館部会

連絡先 第107回全国図書館大会山梨大会実行委員会事務局(山梨県立図書館内)

山梨県甲府市北口2-8-1 TEL: 055-255-1040 / FAX: 055-255-1042

E-mail: 107th-taikai@lib.pref.yamanashi.jp

大会ホームページ <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/107th-taikai/>

第107回全国図書館大会山梨大会

大会テーマ：知をつなぐ、甲斐（交ひ）の国から



大会ホームページ

基調報告 報告者 植松 貞夫 氏（公益社団法人日本図書館協会理事長）

記念講演 「対談 これからの出版と図書館」

堀内 丸恵 氏（集英社会長）

× 金田一 秀穂 氏（山梨県立図書館館長）

集英社の堀内丸恵会長は南都留郡河口湖町（現・富士河口湖町）出身。週刊少年ジャンプで連載された「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の初代編集者で、雑誌編集の最前線を長く経験されました。また、現在は出版界を代表する立場でも活動され、出版の役割や活字文化の大切さについて発言されています。聞き手は、言語学者で山梨県立図書館館長の金田一秀穂氏。お二人に出版や図書館、活字文化のこれから等、自由に語っていただきます。

分科会 リアルタイム配信のみの分科会があります。詳細は大会ホームページでご確認ください。

第1分科会	公共図書館	地域社会における公共図書館の存在意義
第2分科会	大学図書館	新型コロナウイルス感染拡大と大学図書館
第3分科会	学校図書館① 小・中学校図書館	学びを支え 心を育てる学校図書館の創造
	学校図書館② 高等学校図書館	コロナ禍における学校図書館の可能性
第4分科会	児童サービス	子どもと本をつなぐ・つなげる ―変革の時代に―
第5分科会	専門図書館	こどもとおとなの専門図書館 ―地域の資源をどのように提供すべきか
第6分科会	図書館情報学教育	学校司書モデルカリキュラムの質保証
第7分科会	著作権	著作権法に関する動向と課題：令和3年改正著作権法を中心に
第8分科会	公共図書館プロジェクト	MARC 選択の多様性と地元書店納入の可能性
第9分科会	図書館の自由	図書館利用のプライバシー保護
第10分科会	図書館利用教育	情報リテラシー教育の次世代モデルに向けて（仮題）
第11分科会	障害者サービス（1）	利用者にとってアクセシブルな電子書籍とは
	障害者サービス（2）	読書バリアフリー法における各図書館の役割
第12分科会	資料保存	やってみよう資料保存Ⅱ ―資料保存の問題解決！―（仮）
第13分科会	出版流通	コロナ禍における情報利用行動と図書館
第14分科会	多文化サービス	多文化サービスQ&A を使って一歩前進
第15分科会	健康情報	認知症と図書館のバリアフリー
第16分科会	非正規雇用職員	会計年度任用職員 ―職場はどう変わったのか―